

保全インフォメーションきんき 第41号

(平成19年2月20日号)

花と言えば今は「桜」を連想する人が多いのではないのでしょうか？しかし、平安時代以前は花と言えば「梅」を指すことが多かったそうです。そんな梅ですが、観賞用としての「花梅」と果樹用の「実梅」があり、実梅からとれる果実は梅干しや梅酒に利用されます。梅干しには抗菌作用があり保存食として重宝されたため、全国各地に梅の木が植えられていったそうです。近畿地方にも青谷(京都)や南部(和歌山)など梅林がいくつかありますが、梅の花が咲き出すと春の訪れを感じますね。

もくじ

1. ヘッドラインニュース
防火管理体制の充実を
2. 今月の特集
環境問題に「みんな」で取り組むイベントのご紹介
3. How to 保全
次年度の保全業務へ向けて
4. 営繕情報コーナー
平成18年度補正予算と入札ポンドについて

1. ヘッドラインニュース 防火管理体制の充実を

平成19年度春季全国火災予防運動が平成19年3月1日(木)から3月7日(水)までの7日間にわたり実施されます。防火管理者のもと防火管理体制の充実と避難施設等及び消防用設備等の維持管理をお願いします。

年度末が近づき、文書整理を行った際に不要な書類等を廊下等に置かないようにして下さい。避難時の通路幅を確保できないだけでなく、防火管理上もよくありませんので注意して下さい。

(保全指導・監督室 瀧下)



2. 今月の特集

環境問題に「みんな」で取り組むイベントのご紹介

現在、アル・ゴア元アメリカ副大統領の著作、及び彼の講演会の模様を映像化した映画が評判です。著作では環境問題の様々な側面を科学的に分かり易く示すと同時に、私達ができ得ることを丁寧に提示しています。

その著作に2回、説明のないまま名称だけ出てくる環境関連用語として『アースデイ』というものがあります。

今回は、この『アースデイ』を含め、いくつかの「知らない人とも」「同時に」取り組める環境対策関連のイベントをご紹介します。

日頃の環境対策としては、自宅や職場の照明をこまめに消灯したり、冷房温度を上げたり、衣服で調整したりとお心配りされていることと思いますが、ご紹介するイベントは知らない人々と知り合えたり家族で話題にしやすかったりしますから、是非今年は参加なさってみて下さい。スタッフとして参加されるのも「仲間」が増えて心強いものですよ。

アースデイ (Earth Day)

1970年にアメリカで始まったアースデイ(地球の日 4月22日)は、地球のために行動する日です。アメリカにおいては環境保護庁を設置したり、軍の東南アジアにおける枯葉剤使用の禁止を促したり、という成果を積み上げつつ全世界に広がり、1990年には約140の国・地域で開催されるまでになりました。毎年4月22日のアースデイ(及びその前後の週末等)に様々な取り組みがされています。日本で最初の歩行者天国が銀座で誕生したのも、このアースデイがきっかけです。

近い将来、「毎日がアースデイ」となることを目指して、多くの人々がつながっていています。(日本のアースデイについてはこちらをご参照下さい。 <http://www.earthday.jp/>)

100万人のキャンドルナイト

2003年から始まったこのイベントは、毎年夏至の日と冬至の日の夜、8時から10時まで、「電気を消してスローな夜を」を合言葉に、ロウソクを灯して静かに過ごしましょう、というものです。人やグループによっては、夜の間ずっと電気を消灯したり、また夏至や冬至の日を挟んで3日間、キャンドルナイトを楽しんだりする方もいます。

ほんの1個や2個のロウソクで、随分と明るく過ごすことが出来るのに驚かれるでしょう。特にお風呂タイムは格別になります。ただし、火の用心。そして夏至の日は(併せて冷蔵庫以外の全電力を停止してみると)ものすごく暑く感じますから、夜のお散歩もいいかもしれません。 <http://www.candle-night.org/home.html> をご参照ください。

打ち水大作戦

昨年2006年夏には日本全国で約770万人が参加した『打ち水大作戦』は今年5回目を迎えます。決められた時間にみんなでいっせいに水をまくことで、伝統的な「打ち水」の効果を科学的に検証しようとする社会実験です。昨年はパリでも開催したそうです。

「みんなでいっせいに打ち水して、真夏の気温を2℃下げよう」を合言葉に、今年も大暑(7月23日)から処暑(8月23日)まで全国各地で開催されます。唯一のルールは水道水を使わないこと。お風呂の残り湯や雨水などの二次利用水を使います。詳しくは、次のHPで。 <http://www.uchimizu.jp/>

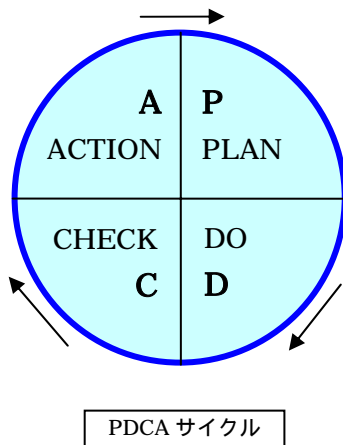
他にもまだまだあります。色々な講演会やイベントに是非ご家族でご参加下さい。また戦争・紛争による環境破壊の影響は大きく、遠い国での戦争・紛争も、巡りめぐって地球の気候変動に影響を及ぼします。次世代に確実に「住める地球」を手渡しましょう。

(官庁施設管理官 中野)

3.How to 保全

次年度の保全業務へ向けて

あと 1 ヶ月あまりで今年度も終わりますが、より良質な保全業務を続けて行く為には毎年保全業務内容の見直しが不可欠です。今回は、保全業務の「PDCA サイクル」について述べたいと思います。PDCA サイクルは、計画 実施 評価 改善 計画 …と一連の業務を次回の業務へとフィードバックさせて行く手法で、保全業務においては以下ようになります。



このサイクルでは、保全業務(委託業務)の 保全計画の立案 保全計画の実施が終わると、速やかに 保全業務の評価、 保全業務の改善へと進む事になります。

もう少し具体的に述べると

「施設性能」:「安全性・耐震性・省エネルギー・省資源・室内環境・バリアフリー・利用状況・コストなどの施設が保有すべき性能水準」

「保全状況」:「管理要員数・記録整備・保全の実施の結果状況・修繕の把握・計画・実施状況」

「保全業務」:「業務体制・業務内容・報告書内容等」

について、保全業務(委託業務)の評価を行いその結果を次回の保全計画へとフィードバックさせます。例えば法定点検は確実に実施されたか、保全業務委託の契約内容や実施状況、報告書に不備はなかったか等の評価を行い、次回の保全業務(委託業務)の改善に繋がります。

また、PDCA のサイクルをスムーズに回す為には保全の担当者が替わる際にも次の担当者へと滞りなく引継ぎを行うべく保全台帳の内容を充実させたり、保全台帳、保全計画書、完成図等の保全資料の内容と保管場所をまとめたりします。引継ぎの際には保全担当の相談窓口「保全指導監督室・京都営繕事務所・神戸営繕事務所」連絡先もお忘れなくお伝えをお願いします。

PLAN	保全計画の立案（計画段階） <ul style="list-style-type: none">・ 保全業務態勢の構築・ 保全計画の立案・ 予算要求資料の作成
DO	保全計画の実施（実施段階） <ul style="list-style-type: none">・ 保全業務の実施・ 保全業務委託の実施
CHECK	保全業務の評価（評価段階） <ul style="list-style-type: none">・ 施設性能の評価・ 保全状況の評価・ 保全業務の評価
ACTION	保全業務の改善（改善段階） <ul style="list-style-type: none">・ 施設性能評価結果の反映・ 保全状況評価結果の反映・ 保全業務評価結果の反映

4. 営繕情報コーナー

平成18年度補正予算と入札ボンドについて

年度末となり、本年度の締めと、次年度の準備とでいそがしいさなかかと思えます。18年度補正予算について、ご報告したいと思います。

今回の補正予算は、財務省より示されている補正予算のポイントとして「財政の健全化を更に進める方針の下、国民の安全・安心の観点からの災害対策等、必要性・緊急性の高い経費に対応。」が示されています。この方針に基づき、今回、緊急防災のための一般公共事業費等として、地震に対する安全性の向上を図るため緊急に施行する官庁施設の整備に必要な経費、官庁営繕費 約224億円が計上されました。

近畿地方整備局への配布状況は、大阪港湾合同庁舎等の総事業費4,822百万円、11件について予算付けされています。

事業費が認められた各官署様におかれましては、現在、発注準備を行っておりますので、施工時には協力をお願いします。

入札等、契約についての動向「入札ボンド」

「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針(適正化指針)」に基づいて、入札制度の変更が行われています。適正化指針では、一般競争入札の拡大等や総合評価の拡充等が示されています。しかしながら、一般競争入札を拡大すれば、不良不適格業者の参入や、経営力に比べ過度な入札参加の増大が心配されます。また、技術提案審査で技術力の優れた業者を選択する、総合評価方式も発注者の負担が増大し業務の遅滞が心配されます。入札ボンドの導入により、これらリスクを下げ、更なる入札・契約の適正化を図って行こうとしています。

さて聞き慣れない入札ボンドとは何でしょう。元々会計法には入札保証制度があります。現在は一律入札保証金を免除していましたが、この運用を改め、入札保証金を原則化し、現金又は入札保証保険契約等を締結した場合、入札保証金を免除するようにします。これが入札ボンド制度です、また、枠の中が入札ボンドの種類になります。金融機関等が入札前に企業の財務的な履行能力を審査すると言った、市場機能の活用により、契約履行能力が著しく劣る建設業者の排除、深刻化するダンピングの抑止が期待できます。

近畿地方整備局では本年度より土木工事で試行しており来年度より拡大する予定です。契約手続き期間について入札ボンドを準備する期間が別途必要となってきます、ご理解の上、ご協力のほど、お願いします。

入札ボンドの種類

- ・損保の入札保証保険
 - ・金融機関の入札保証
 - ・金融機関・保証事業会社の契約保証予約
- ただし、現金、国債その他有価証券も提出可

入札ボンドについて詳しくは以下の国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/01/01/0908_4_.html

(計画課 中尾)

このメールマガジン(メールでの受信が不便な方にはFAXで配信)は、国家機関、地方自治体、特殊法人、独立行政法人の施設管理に携わっておられる方々に、施設保全の最新情報や保全の技術をお知らせするために国土交通省近畿地方整備局がお送りしています。

また、施設管理の担当地域が整備局の複数の事務局にまたがる方には、監督室・事務所の情報を伝えるためにも、それぞれの監督室・事務所からお送りしています。

本メールマガジンについてのご意見、ご感想等をお待ちしています。今後のメールマガジンの記事等に反映させていきたいと思っています。

事務局

営繕部 保全指導・監督室(TEL:06-6443-1791)

岩田 弘美 (iwata-h86qz@kkr.mlit.go.jp)、岩下 衣未子、瀧下 幸生

京都営繕事務所(TEL:075-752-0505)

西井 里佳 (nishii-r86qs@kkr.mlit.go.jp)、森田 良次、吉見 章

神戸営繕事務所(TEL:078-222-8979)

植岡 哲也 (ueoka-t86fe@kkr.mlit.go.jp)